

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”
夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する



開 知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第41号 平成31年1月15日 文責 久保 克則

短いからこそ充実した日々を!

1月に入り、朝の冷え込みはさらに厳しくなってきたような気がします。朝から学校前の横断歩道に立っていますが、吐く息の白さが増したように思えてなりません。



暦の上では、**1月20日（日）が「大寒（冷気が極まって、最も寒さがつのる）」ときとなっています。**確かに風が吹くと、一気に冷気が顔の横を通り過ぎていきます。しかしながら、これは旧暦を基にしたものであり、今の暦に置き換えると1か月ほど遅れることになるようです。ということは、**2月中旬頃が寒さのピークということになり、まだまだ実際には寒さは厳しくなるということになります。**春の訪れは、もう少し先まで待たなければならないようです。

世知原小学校に赴任したことをきっかけとして、初めて車のタイヤをスタッドレスに履き替えました。せつかなので、雪道を走ってみたいという気持ちもありますし、かといって、猛吹雪では通勤ができないかもしれないし、微妙は心境です。

学校では、先週の11日（金）に「書き初め大会」が終わり、子どもたちもお正月気分がとれ、平常の学校生活のリズムを取り戻しています。

とは言え、前号に掲載していたように「1月は行く月、2月は逃げる月、3月は去る月」と例えられています。うかうかしていると、あっという間に3月末を迎えてしまいそうな気がします。



先週の10日（木）には、早くも「卒業証書授与式」について職員会議で話し合い、大筋の内容について決定しました。もう今年度末の準備を始めなければいけません。さらには、17日（木）の授業参観後には、6年生が「世知原中学校入学説明会」に参加します。

29日（火）には、本校において「入学説明会」を実施する予定です。早くも来年度に向けて動き始めています。



しかしながら、時の流れの勢いに吞まれないようにしなければなりません。4月に希望に胸を膨らませて、ワクワクして新たなスタートを切るためには、しっかりと今の学年のまとめを行わなければなりません。**1月8日（火）子どもたちに話したように、「3つの土台」をすぐに着実に身に付け、その上に「真っ直ぐに伸びた4本の柱」を立て、それぞれの学年で重要な学習事項を必ず習得し、それを支えとして「広くしっかりと築かれた屋根」をつけ、一人一人の持てる力を十分に発揮してほしいと思っています。**そのために、全教職員一体となって、子どもたち全員が1年を振り返ったときに充実した達成感を味わい、次のステップに向かうことができるよう頑張っていきます。

どうぞ、3月末まで教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。